

# 相模原マンドリン倶楽部

## 第 30 回定期演奏会



第29回定期演奏会(2013年10月25日) 提供: スタッフ・テス

第 29 回定期演奏会 撮影: スタッフ・テス

2014 年 10 月 25 日 (土) 14:00 開演

相模女子大学グリーンホール 大ホール

後援 : 相模原市・相模原市教育委員会

## ♪ ご挨拶 ♪

本日はご多忙の中、相模原マンドリン倶楽部定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

1977年（昭和52年）3月に相模原マンドリン倶楽部の創設を記念した「第1回定期演奏会」は、わずかに部員13名によりささやかに開催されました。以来37年、今回節目となる「第30回定期演奏会」では60余名の部員によるオーケストラ編成での演奏ができることの喜びをかみしめております。

第2部で演奏します幻想曲「華燭の祭典」は20年前の「第12回定演」でも演奏いたしました。今回はより迫力のあるマンドリンオーケストラの醍醐味をお楽しみいただけるものと思います。

今後ともマンドリン音楽に深いご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

部長 小澤健二郎

## ♪ 演奏曲目 ♪

### 第I部

指揮：宮本 皓永

- |                    |                  |          |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 歌劇「魔笛」序曲        | 作曲：W. A. モーツアルト  | 編曲：宮本 皓永 |
| 2. カッチーニの「アヴェ・マリア」 | 作曲：V. F. ヴァヴィロフ  | 編曲：中西 茂樹 |
| 3. 中南米へのいざない       |                  | 編曲：宮本 皓永 |
| ・ 花まつり             | 作曲：E. P. サルディバール |          |
| ・ コンドルは飛んでいく       | 作曲：D. A. ロブレス    |          |
| ・ そよ風と私            | 作曲：E. レクオーナ      |          |
| ・ グラナダ             | 作曲：A. ララ         |          |
| 4. シャコンヌ           | 作曲：小林 由直         |          |

-----休憩 15分-----

### 第II部

客演指揮：新井 義輝

- |               |            |          |
|---------------|------------|----------|
| 1. 舞踊風組曲第一番   | 作曲：久保田 孝   |          |
| 2. チャールダーシュ   | 作曲：V. モンティ | 編曲：久保田 孝 |
| 3. 幻想曲「華燭の祭典」 | 作曲：G. マネンテ | 編曲：中野 二郎 |
| Ⅰ 人々の祝福       |            |          |
| Ⅱ 教会にて        |            |          |
| Ⅲ 家族の祝宴       |            |          |



## ♪曲目紹介♪

### 歌劇「魔笛」序曲 (Die Zauberflöte)

作曲：ヴォルフガング・アマディウス・モーツァルト (Wolfgang Amadeus Mozart:1756~1791)

モーツァルトは、オーストリアの作曲家・演奏家であり、ハイドン、ベートーベンと並ぶウィーン古典派三大巨匠の一人です。作品は900曲以上であらゆるジャンルにわたっており、ハ長調で装飾音のある軽快で優美な曲を多く残しています。魔笛は、生涯の最後に完成させたオペラであり、台本は興行主のエマヌエル・シカネーダーが自分の一座の為に書いており、現在でもモーツァルトのオペラの中でも人気のある曲です。導入となる序曲は、特徴的な3種の和音のファンファーレで始まり、すぐにアレグロの主題部へ移っていきます。

### カッチーニの「アヴェ・マリア」 (Ave Maria : Caccini)

作曲：ウラディーミル・フョードロヴィチ・ヴァヴィロフ (Владимир Фёдорович Вавилов :1925~1973)

ヴァヴィロフは、ロシアのギタリスト・リュート奏者・作曲家。サンクトペテルブルク音楽院にてギター、作曲を学び、演奏家のみならず国立楽譜出版社の校訂者としても活躍しました。カッチーニのアヴェマリアは、シューベルト、グノーと並ぶ三大アヴェマリアの一曲として愛好されています。ヴァヴィロフは、自作を古典作曲家の名前を借り発表する事が良くありましたが、1972年の録音では作曲家不詳のアヴェマリアとして発表、没後10年の録音で作曲者が「D. Caccini」と表記され、カッチーニ作として広まったとされています。

### 中南米へのいざない

#### 花まつり (Fiesta de la primavera)

作曲：エドムンド・ポルテーニョ・サルディバル (Edmundo Porteño Zaldívar :1917~1978)

サルディバルは、アルゼンチンの作曲家。「ウマウアカの谷にカーニバルが来るよ、チョリータ(娘)さん」という歌詞が、アンデスの音楽に代表される楽器により、軽快な音楽に合わせ歌われます。

#### コンドルは飛んでいく (El Cóndor pasa)

作曲：ダニエル・アロミア・ロブレス (Daniel Alomía Robles:1871~1942)

ロブレスは、ペルーの作曲家。インカ帝国の王女を主人公にしたサルスエラ(オペレッタ)の為に作曲され、自ら採取したアンデス地方の民族音楽がベースになっていると言われています。ケーナ、チャランゴ、ギターで演奏されるこの曲は、日本でも大変親しまれています。

#### そよ風と私 (La brisa y yo)

作曲：エルネスト・レクオーナ (Ernesto Lecuona:1895~1963)

レクオーナは、メキシコの音楽家。ピアノ組曲「スペイン組曲」の中の「アンダルシア」という曲で、スペイン語歌詞、英語歌詞がつけられ、タイトルも「そよ風と私」に改められました。多くのカバーが出されており、ジャズのスタンダード・ナンバーとなっています。

#### グラナダ (Granada)

作曲：アウグスティン・ララ (Augustín Lara:1897~1970)

ララは、メキシコの作曲家。ララが初めてスペイン南部の町「グラナダ」と出会ったのは本の中で、輝く太陽、熱血の闘牛、そして情熱の女性たちに心奪われ、まだ見ぬ街への憧れを曲にしました。幻想から生まれたこの曲は、今も世界中で愛される名歌となっています。



## シャコンヌ (Chaconne for Mandolin Orchestra)

作曲：小林 由直(1961～)

小林由直氏は、1984年日本マンドリン連盟主催第4回作曲コンクール入賞、以後、マンドリンに軸足をおいた作品を数多く発表され、現在、内科医の傍ら、マンドリン合奏曲、室内楽曲などの作曲及び指導をされています。シャコンヌは、17～18世紀に愛好されたゆっくりしたテンポの変奏形式による舞曲で、原則として3拍子を取り、4小節ないし8小節の低音進行又は一定の和声進行に支えられて、絶え間なく変奏を続けていきます。この曲は、最初のうちは、素朴で美しい旋律が流れ、そしてそれが様々な表現で変容していきます。

## 舞踊風組曲第一番(Tanz-suite Nr.1)

作曲：久保田 孝(1942～)

久保田孝氏は、三石精一氏に指揮法を師事、旧西独カールスルーエ音楽大学、ウィーン音楽大学の指揮科へ留学、帰国後、国内の著名オーケストラを指揮、マンドリン界では、クボタフィロマンドリーネンオーケスターを創立し、マンドリンオーケストラの演奏活動に力を注ぐと共に後進の指導にあたられています。この曲は、ドイツ留学中に書かれた作品で、構成は、序奏と4つの舞曲、さらに3つのエピソードから成っています。マンドリンの緊迫感を伴う旋律で始まる序奏を経て、第1の舞曲が、マンドラの旋律により奏でられます。

## チャールダーシュ (Czardas)

作曲：ヴィットーリオ・モンティ (Vittorio Monti;1868～1922)

モンティは、イタリアの作曲家。生まれ故郷のナポリでヴァイオリンと作曲を学び、指揮者としてパリに行き、バレエやオペレッタをいくつか作曲しています。チャールダーシュは、ハンガリー語で酒場という意味のチャールダに由来しますが、実際には、ハンガリー音楽に大きく貢献した作曲家ロージャヴェルジ・マールクの作った楽曲の名前から広まりました。このチャールダーシュは、マンドリンの曲として作られましたが、ヴァイオリンやピアノ向けの編曲が良く知られており、チャールダーシュの代表曲として日本では有名です。

## 幻想曲「華燭の祭典」 (Festa di Nozzo, Fantasia in 3 tempi)

作曲：ジュゼッペ・マネンテ (Giuseppe Manente;1867～1941)

マネンテは、イタリアの指揮者で作曲家。指揮者であった父から音楽教育を受け、吹奏楽団でトランペット奏者として活動、各地の軍楽隊長を歴任しました。吹奏楽曲、マンドリン合奏曲、ピアノ曲などの800曲以上の作品を残しています。中野二郎氏は、マネンテと親交があった関係で、マネンテの多くの吹奏楽曲をマンドリンオーケストラ用に編曲されています。この曲は、吹奏楽曲として作曲されましたが、日本では、マンドリンオーケストラ版の方が広く知られています。結婚式での祭りを表しており、婚礼を祝う人々の喜びの賑わい、教会の式典の厳かさ、祝福に導かれ幸福に包まれた宴の様子が感じられる歓喜溢れる曲です。

(参考資料として、ウィキペディア、世界大百科事典、小林由直オフィシャルウェブサイト、久保田孝オフィシャルウェブサイト、上智大学ソフィアマンドリーノ定期演奏会パンフレット、中野二郎著「いる・ふれっとろ」より引用させていただきました。)



## ♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラなど幅広い分野での指揮、指導にあたる一方、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積む。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わる。2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰。その他オペラ演出やマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を広げている。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。

## ♪ 活動レポート ♪

- 2013年 10月26日(土) 第29回定期演奏会 (相模女子大学グリーンホール 大ホール)  
2014年 1月11日(土) 新年会  
3月2日(日) 大野中公民館まつり参加 (大野中公民館)  
5月18日(日) 第32回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (栄公会堂)  
5月24日(土) 2014年度定期総会(総合学習センター)  
9月27日(土)、10月18日(土) 終日練習 (相模女子大学グリーンホール リハーサル室)  
10月25日(土) 第30回定期演奏会 (相模女子大学グリーンホール 大ホール)

## ♪ 練習風景 ♪



約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。写真は定演前の練習風景です。



## ♪ メンバーの紹介 ♪

Conductor 宮本 皓永 新井 義輝

◎トップ、○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 梅澤典子 仁尾眞里	○舟田徳穂 大矢利夫 木田絹子	藍澤桃子 川崎絃子 山崎了三	綾部文子 桑田久美子 吉野昌重	石本友子 長沼美智子
2nd Mandolin	◎中重亜由美 京増万由美 福谷隆治	○金澤葉子 後藤ケイ子 松本美千代	饗庭裕子 田嶋稔一 渡辺礼子	大沼和江 戸田節子	岡林誠士 長澤直子
Mandola	◎寺田美千代 小竹義範 宮下和子	○野沢孝広 末永浩二 吉岡直美	池田百合子 笛木和美	大熊友子 峯田福代	小竹由美 三村乃之
Mandolon-cello	◎井上昌子 錦戸民子	○藤田尚美 古田栄治	飯田正男 宮本皓永	小澤健二郎	鈴木すみ子
Guitar	◎吉田真紀子 新田美佐子	○中西茂樹 原田 治	池上由子 宮本紀子	加登文子 柳生秀人	田中厚子 和田真紀子
Contrabass	◎錦戸雅子	○鈴木保彦	加藤規康	☆佐藤文俊	
Timpani	☆横内 諒				
Percussion	☆倉内優斗	☆中嶋福宜	☆横内 諒	☆堀田理恵	

司会 ☆矢崎ひとみ  
ステージ・マネージャー 田嶋稔一 ☆飯田貴大

部長 小澤健二郎  
マネージャー 桑田久美子 三村乃之 田中厚子 錦戸雅子  
技術委員長 井上昌子  
技術副委員長 中西茂樹

## ♪ 第31回(2015年)定期演奏会の予定 ♪

日時 2015年10月24日(土) 14時開演  
場所 相模女子大学グリーンホール 大ホール  
詳細はウェブサイト (<http://sagamiharamc.sakura.ne.jp/>) に掲載致します。  
相模原マンドリン倶楽部  
問い合わせ先 小澤健二郎